



海外SFショート・ショート秀作選(1)
Thinking Machines
(1981) et al. (1981,
82) アイザック・アシモフ他編(風見潤訳)
集英社(文庫) (10/
15刊・¥300)

絵本四冊分を一まとめにして文庫化する、
というののもちょっとよく分からない発想。同
じ文庫サイズでも、どうせならもっと絵本風
にした方が、と思うのだけれど。まあ、それ
はさておき、内容は十七篇のショート・ショ
ーを取めた、テーマ別アンソロジー。有名な
作家、作品も多く入っている。編者は、アシ
モフ、グリーンバーク&ウォーの例の三人組。
テーマが、四冊の絵本のタイトル、地球侵略、
マッドサイエンティスト、考える機械、
終末のあと——収録作は、もともと子供
向ではないし、編者がヒネくれているのか、
かなりシニカルなものが多い。子供に夢と希
望を、というよりブラックユーモア風のム
ードが強いのである。例えば「闘技場にて」の
主人公の心理とか、「武器」の皮肉とか「九
十億の神の御名」の意味とか、はたして理解
できるのだろうか。どういう感じ方をするの
だろう。でも、子供って結構残酷なところ
があるから、分かるのかもしれないねえ。

しかし、純粹に内容だけを見るなら、大人
が読んでも、まずまずコストパフォーマンス
に引き合う水準。続刊として、もう一冊予定
されている。